

回 答 書

ご提案等の内容

主題：中学校部活地域移行について

内容：先生方の負担軽減の為に、中学校の土日の部活を地域に移行する動きになって来ていると思うのですが、西会津町は何故動きが鈍いのでしょうか？

県の教育委員会に確認したら、昨年度に各自治体に話は降ろしているとの事。実行に対しては県は必要あればお手伝いするので、実行するかしないかは各自治体に任せているとの回答でした。

それを踏まえて、町の教育委員会に確認したら、いつからスタートするという事も決まっていないし、今年度（いつかは決まっていない）中に関係各所と会議しますとの事でした。

何故こんなにスピード感が無いのかが理解出来ません。

部活の地域移行に関しては、部活の顧問の先生は専門で無い場合が多く、子どもたちも早く移行してもらえばより専門的な指導を受けられるメリットがあるので

今現在、部活によっては外部コーチを受け入れている所もあつたりしていますが、部活格差が有り、教育の中の一環としての平等とは言えない状況にあります。

町には1校の中学校しかありません。喜多方、若松のように何校もあつて調整が必要などもありません。なので、どうかスピード感を持って実行して欲しいです。会議をやるよりも失敗を恐れず実行して欲しいです。

このままで行くと、今在学している生徒たちは、この恩恵を受けられないで中学校生活終わると思います。

ご提案に対する回答

回答者：西会津町長

ご提案いただきました「休日の部活動の地域移行」については、教育長より、以前から報告等を受けておりましたので、現状についてお答えします。

ご存じのとおり、国は、少子化による部員減少、教員の長時間労働解消が求められ、学校単位での部活動運営が困難になること等を背景に、まずは、「休日の部活動の地域移行（令和5年度から令和7年度までの3年間を推進期間）」を推進し、少子化の中でも、将来にわたり子供たちがスポーツ等に継続して親しむことができる機会、多様な体験機会を確保することとしています。

一方で、全国どの地域でも当てはまる効果的で適切な唯一の解決策は存在しないとして、国は、地方自治体に地域の実情に応じた取り組みを促しているところです。

これを踏まえ、県内では、運動部活動で会津若松市、喜多方市、三春町、川俣町の

4市町、文化部活動で石川町が、国のモデル事業に令和5年度採択され取り組んでいる状況です。

「中学校部活動のあり方」について、町では、昨年7月開催の「町総合教育会議」で、町教育委員会では、昨年度から教育委員会定例会の開催時間前に行う協議会や校長会議などで、協議や議論を重ねてきたところであり、現状では、次のような考え方について検討してきたところです。

- ・生徒主体の自立ある部活動
- ・障がいの有無に関わらず、誰もが参加できる部活動
- ・勝利主義・能力主義に優先されない部活動

今後は、「中学校部活動のあり方」とともに、「休日の部活動がどうあるべきか」、中学校及び生徒自らの考え方を基本に、有識者、校長、PTA、スポーツ団体の代表等で検討会議を組織し、国や県、他市町村の情報等を参考にしながら、検討を進めていく考えです。